

# IV

## 現代的課題対応事業の概要



麻生市民館 「江戸しぐさに学ぶ」

## IV 現代的課題対応事業の概要

地域が抱える緊急の課題に的確に応えることを目指し、教育文化会館・市民館・分館が社会や地域のニーズを適切に調査・研究し、先導的・主導的に実施していく事業として 2008（平成 20）年度から新たに開設した。

### 1 シニアの社会参加支援事業

いわゆる団塊の世代の市民が、これまで社会で培った豊富な経験と知識、多様な能力を活かし、これまで関わりの少なかった地域社会での様々な活動に参加できるよう支援することを目的に開設した。

地域参加の「はじめの一步」となるように基本的知識や技術を高めながら仲間作りを図ると共に、多様な学習形態により多くの市民が参加できるように工夫した。

## Ⅳ 1 シニアの社会参加支援事業

### 教文 〈趣味を高めてボランティア！〉

主 題：趣味を高め、地域貢献をめざす

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・20	土	写真撮影・ビデオ撮影の趣味を、地域や学校などのイベントでの「記録係」や、地域の古い映像史料の整理などに活かすことのできる簡単な編集知識と技術を学ぶ。また、4～5人一組のグループをつくり、協同で作業を行うことで、併せて仲間意識を育てることを目的とする	オリエンテーション 映像編集の基礎知識	日本映画学校 映像プロデューサー 浜口 文幸
2	27	土		作品の背骨にあたる「構成」の組立てについて学ぶ	
3	3・6	土		様々な素材の中から取捨選択し、一つのシーンに洗練させてゆく編集作業についての基本技術を学び、実際に作品（5分程度）を作成する	
4	13	土		「テロップ」「映像エフェクト」の種類や役割、効果的な使い方を学ぶ	日本映画学校 映画監督 橋本 信一
5	20	土		「ナレーション」「音楽入れ」の役割と効果的な使い方と批評	
6	27	土			

- 開設場所 教育文化会館 ●時間帯 13:30～16:30
- 対象 40歳以上の関心のある方 ●参加者数 20人（男13人、女7人）
- 延べ人数 103人

### 幸 〈さいわい、みらい、やることさがそう！〉

主 題：自分を見つめ直し、これからの地域参加を考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・10	土	シニア世代の人たちが、自分を振り返り家族や地域を見つめ直す機会を与え、受講者同士の仲間作りとその後の地域参加を支援する	自分再発見 《素敵にシニアライフⅠ》 自分のこと、家族のこと、地域のこと	(有)コミュニティサポートネット 代表 生駒 みを
2	24	土		【公開講座】男性の更年期 《素敵にシニアライフⅡ》 素敵にパートナーシップ40歳からの性と生	“人間と性”教育研究協議会 幹事 村瀬 幸浩
3	31	土		動き出した男たち おやじの会「いたか」から学ぶ「会社人間が地域参加にはまる時」	おやじの会「いたか」 丸山 幸一
4	11・7	土		【公開講座】シニア世代は今～心豊かなシニアライフを応援する講師からのメッセージ	ノンフィクション・ライター 足立 紀尚
5	14	土		地域活動に参加しようⅠ おやじの会「いたか」の活動に参加	おやじの会「いたか」 中島 豊
6	21	土		人付き合いは笑顔から 《素敵にシニアライフⅢ》 気持ちを川柳に託して	NPO法人シニア大楽 藤井 敬三 おやじの会「いたか」 世話人 大下 勝巳
7	23	月		地域活動に参加しようⅡ 室内で波乗り、ビーチコーミングをしながらゴミの分別や水質調査を行う環境体験	サーフライダーファウンデーション 齋藤 茂
8	12・12	土		これからの活動に向けて 《素敵にシニアライフⅣ》 ～マイペースでできることからしませんか～	大下 勝巳

- 開設場所 幸市民館 他 ●時間帯 14:00～16:00
- 対象 市内在住・在勤の50～70歳の方
- 参加者数 35人（男25人、女10人） ●延べ人数 61人（公開講座参加者数含む）

## 中原 〈シニアライフ・セミナー〉

主 題：セカンドライフの過ごし方

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・23	土	これからの人生を豊かに過ごせるように、現在当面する諸課題を学ぶと共に、地域にかかわるイベント等も体験しながら自分たちの住む地域についてより理解を深める。また今後の地域でのボランティア活動を視野に入れたライフスタイルのあり方も考える	より充実した生き方を求めて	武蔵野大学大学院 教授 川村 匡由
2	30	土		かわさきボランティア・市民活動フェア見学	職員
3	2・14	日		人間関係を考える・自己分析とコミュニケーション	心理カウンセラー 沼田 泰子
4	20	土		地域の活動を学ぶ	二ヶ領用水中原桃の会 NPO法人ナルク川崎 NPO法人グループリビング川崎
5	28	日		「落語」で学ぶ悪質商法の落とし穴	出前落語家 夢見亭 わっぱ
6	3・6	土		食と健康を考える	食の安全を考える会 代表 野本 健司
7	13	土		健康維持のために・ノルディックウォーキング体験	(社)全日本ノルディック・ウォーク連盟 田村 秀一
8	27	土		セカンドライフをデザインする	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代

●開設場所 中原市民館 他

●時間帯 主に10:00～12:00

●対象 55歳以上

●参加者数 31人(男10人、女21人)

●延べ人数 173人

## 高津 〈シニアのサロンでひと時&料理専科〉

主 題：地域活動の意味や目的を理解し、実際の活動体験を通して地域活動のきっかけとする

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・26	日	料理を通じて、地域の仲間作りを行なう。また、退職後のライフプランとして地域活動を推奨し、その必要性和魅力について紹介する	【オリエンテーション・自己紹介】 イタリア料理	東京栄養食糧専門学校 講師 石川 晃
2	10・12	月		燻製作りとバーベキュー	黒川野外活動センター 職員
3	17	土		うどん打ち	武蔵野うどん保存会
4	25	日		【公開講座】 シニアの生き方について学ぶ	福祉ジャーナリスト 村田 幸子
5	12・6	日		手作り料理を持ち寄り、試食しながら講座の振り返り	職員

●開設場所 高津市民館 他

●時間帯 主に10:00～14:00

●対象 40代以上の方

●参加者数 15人(男6人、女9人)

●延べ人数 74人(公開講座含む)

## 高津 〈週末からのエコボランティア～二ヶ領用水浄化大作戦～〉

主 題：地域活動の意味や目的を理解し、実際の活動体験を通して地域活動のきっかけとする

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・7	土	地域で活動するグループを知り、実際に地域活動を体験しながら地域活動の意義や必要性を考える	【自己紹介 / オリエンテーション】 ①二ヶ領用水とNWFとの関わり ②二ヶ領用水の歴史と地域の関わり	二ヶ領用水ウォッチングフォーラム(NWF) 職員
2	15	日		現地見学・調査①(中野島)	
3	22	日		現地見学・調査②(登戸)	
4	29	日		活動体験(清掃活動、マジックハンド体験)	

●開設場所 高津市民館 他

●時間帯 10:00～12:00

●対象 40代以上の方

●参加者数 6人(男4人、女2人)

●延べ人数 20人

## 高津 〈古文書「超」入門講座 高津伝～高津区由来のやさしい古文書～〉

主 題：地域活動の意味や目的を理解し、実際の活動体験を通して地域活動のきっかけとする

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・21	土	古文書の基礎知識を学びつつ、高津由来の古文書を読むことで、地元への愛着を深める	【オリエンテーション】 『百人一首』を読みながら古文書に親しむ	NPO法人高津区文化協会 会長 鈴木 穆
2	28	日		『徒然草』や明治期の書簡を読む	
3	3・6	日		三行半や『田村家文書』等を読む	
4	14	日		「溝口水騒動」についての文書等を読む	

●開設場所 高津市民館 ●時間帯 10:00～12:00

●対象 50代以上で古文書初心者の方

●参加者数 34人(男21人、女13人) ●延べ人数 113人

## 橘 〈街の先生〉

主 題：公募の地域の達人に、さまざまな内容を地域の仲間と学びあう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・28	月	写真入門	写真を撮るとは	日本写真協会 川口 道明
2	10・5	月		上手に写真を撮る技術	
3	12	月		お互いの写真から学びあう	
4	11・8	日	地域で安全に暮らし続けるために	[公開講座] 地域の安全・安心のために何ができるか	高津防犯ネットワーク 田中 伸一
5	10	火	健康体操	練功十八法 前段	日本練功十八法協会 佐藤 かずよ
6	17	火		練功十八法 後段	
7	24	火		練功十八法 益気功	
8	12・1	火		総まとめ	
9	1・12	火	イングリッシュ・ハンドベル	ハンドベルとは ふるさと バラが咲いた 赤い花 花白い花	日本ハンドベル連盟 柳沢 昌美
10	17	火		虹の彼方へ 赤い川の谷間	
11	26	火		千の風になって オーラーリー	
12	2・5	金	パソコン入門	パソコンの立ち上げ ワード入門	高橋 貞夫
13	12	金		エクセル入門	
14	19	金		総まとめ	

●開設場所 橘分館 ●時間帯 主に10:00～12:00

●対象 橘地区在住の概ね50歳以上の関心のある方

●参加者数 83人(男26人、女57人) ●延べ人数 166人

## 宮前 〈シニアライフを生き生きと〉

主 題：シニアが地域で活躍するためにパート2

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・2	金	シニア時代を生き生きと過ごすために(1)	自分に合った生き方って	日本フィランスロピー 研究所所長 渡邊 一雄
2	9	金	裁判員制度の意義と課題を考える	裁判員制度が始まり、見えてきた意義と課題を弁護士の視点から考える	横浜弁護士会 会員 伊藤 諭
3	16	金	生涯成長するために	生産的加齢のすすめ	聖徳大学 講師 齊藤 ゆか
4	23	金	老後の暮らしを考える～自宅で～	自宅での老後の過ごし方。知っておきたい介護保険	包括支援センターレストア川崎 内山 信隆
5	30	金	老後の暮らしを考える～施設で～1	老人ホームまで暮らしの実態と準備しておきたいこと	包括支援センターレストア川崎 明石 光子
6	11・6	金	老後の暮らしを考える	認知症って	認知症介護指導者 昼間 正教
7	13	金	老後の暮らしを考える～施設で～2	区内老人介護関連施設を知る(包括支援センターレストア川崎・有料老人ホーム桜湯園・グループホームつくい)	各施設職員
8	20	金		区内老人介護関連施設を知る(小規模多機能ホームフォンテーヌ鷺沼高齢者専用賃貸住宅シニアピラ)	
9	12・1	金	宮前区内の地域医療とホームドクター	地域医療とホームドクターの見つけ方	小野田医院 院長 小野田 昌一
10	4	金	地域デビューの進め	野川の活動にみる高齢者の支え合いに学ぶ	すずの会 会長 鈴木 恵子
11	11	金	シニア時代を生き生きと過ごす(2)	まずはじめの一步を	渡邊 一雄

- 開設場所 宮前市民館 ●時 間 帯 13:30～15:30
- 対 象 区内在住の50歳以上の方
- 参加者数 30人(男10人、女20人) ●延べ人数 218人
- 企画委員会 5回 ●企画委員 6人

## 菅生 〈めざせ！地域人 ～問題発見力と解決力をつけよう〉

主 題：地域の課題や魅力の発見とその解決をめざす

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・27	水	私の「気になっていること」を探ってみよう	関係作りワークショップ「地域について気になっていること」を探り共有する	参画はぐくみ工房 代表 ファシリテーター 竹迫 和代
2	2・3	水	地域って何だろう～地域は人・物・事の宝庫	様々な地域活動に事例を知り、市民参画、協働による地域づくりの意味を学ぶ	計画技術研究所代表 まちづくりコンサルタント 住谷 和江
3	10	水	先達に会いにいこう～地域の課題や魅力発見	地域活動をしている人に質問や意見交換を行い活動することの意味や課題を探る	竹迫 和代
4	12	金			職員
5	17	水	「みんなで考える」体験をしよう～先達訪問	前回の現場訪問で感じたこと、考えたことを伝え合い、まとめる	竹迫 和代
6	24	水	「想い」の翼広げよう～私の活動計画づくり	地域にこんな事があったら、こんな事をやってみたいと思う活動計画をまとめる	
7	3・3	水	次のステップを見つけよう～初めの一步	次のステップのためにこの地域での活動・実情等、実践のノウハウを学ぶ	田園調布学園大学 教授 村井 祐一

- 開設場所 菅生分館・他 ●時 間 帯 10:00～12:00
- 対 象 関心のある方 ●参加者数 11人(男2人、女9人)
- 延べ人数 49人

## 多摩 〈デジカメ まる得 写真術〉

主 題：デジタルカメラを用いた“人に伝えるための写真術”を学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	8・30	日	シニア世代自らが情報発信する力をつけるため、さまざまな情報発信媒体で利用が出来る写真術、特に誰でも簡単に扱えるコンパクトなデジタルカメラによる情報発信のための写真のコツを学ぶことを通じて、シニアによるチラシやポスター、ホームページやブログなどに活用を図る	オリエンテーション & 自己紹介 コンパクトデジタルカメラについて	カメラマン 立木 圭之介
2	9・6	日		様々な撮影技法を学ぶ①	
3	13	日		「たまたま子育てまつり」説明会	職員
4	20	日		「たまたま子育てまつり」を撮る【実習】	立木 圭之介
5	27	日		実習の講評	立木 圭之介 協力：エプソン販売株式会社
6	10・4	日		様々な撮影技法を学ぶ②	立木 圭之介

●開設場所 多摩市民館 他

●時間帯 主に 14:00～16:00

●対象 40代以上

●参加者数 30人(男15人、女15人)

●延べ人数 155人

## 多摩 〈広告コピーを書こう。〉

主 題：広告コピー作りを通じて、他人に伝える“言葉”の作り方について学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・17	土	多様な情報媒体で利用が出来る広告コピーについて学び、様々な媒体での活用を促す	オリエンテーション&自己紹介 コピー作りの実際とコピー制作体験	コピーライター 渡辺 潤平
2	24	土		コピー制作体験と講評	

●開設場所 多摩市民館 他

●時間帯 10:00～12:00

●対象 40代以上

●参加者数 43人(男11人、女32人)

●延べ人数 80人

## 多摩 〈選挙で発見！テレビのヒ・ミ・ツ大公開〉

主 題：シニアのためのメディアリテラシー講座（テレビ編）

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・7	土	選挙でのテレビ報道を例に情報媒体の特性を学び、情報の読み解きの力の向上を目指す	知っておきたいテレビの特性	テレビディレクター 村井 明日香
2	28	土		選挙報道に学ぶテレビの賢い見方	

●開設場所 多摩市民館 他

●時間帯 14:00～16:00

●対象 40代以上

●参加者数 19人(男13人、女6人)

●延べ人数 21人

## 麻生 〈シニアの社会参加支援事業（1）〉

主 題：「市民館ナビゲーター」養成講座

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・28	水	生涯学習相談に求められる基礎的な資質	生涯学習支援と市民館ナビゲーター～地域における生涯学習	八洲学園大学 教授 浅井 経子
2	11・4	水	やコーディネート能力を高め、情報収集・	学習情報提供と相談対応による学習支援～「学習情報ボランティア」の可能性	文教大学大学院 教授 平沢 茂
3	11	水	情報提供・相談対応ができる市民館ナビゲーター（生涯学習ボランティア）を養成する	学習情報提供・学習相談の実際～横浜市の事例研究	横浜市港北区役所 地域振興課 職員
4	25	水		学習相談のためのカウンセリング	作新学院大学女子短期大学部 教授 加藤 千佐子
5	12・2	水		これからの学習相談・地域活動支援に求められるもの	職員

●開設場所 麻生市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 概ね50歳以上で関心のある方

●参加者数 14人(男6人、女8人)

●延べ人数 49人

## 麻生 〈シニアの社会参加支援事業（2）〉

主 題：『江戸しぐさ』に学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・30	金	互いを尊重し助け合い快適な社会生活を営んでいくための知恵	江戸しぐさとは 江戸しぐさが生まれた背景	NPO法人江戸しぐさ 副理事長 桐山 勝
2	11・6	金	としてまとめられた江戸	江戸の子ども観と寺子屋の教育方法	
3	20	金	戸しぐさを学び、シニアの地域活動や仲間	白木屋、越後屋などにみる江戸商人の心得	
4	12・4	金	づくりに活かす	江戸っ子気質を生んだ町人文化と経済	
5	18	金		『あさおしぐさ』をつくろう	江戸しぐさ インストラクター 鈴木 由利子

●開設場所 麻生市民館

●時間帯 14:00～16:00

●対象 50歳以上の方

●参加者数 48人(男14人、女34人)

●延べ人数 180人

## 麻生 〈シニアの社会参加支援事業（3）〉

主 題：選ばれる男たち～女たちの夢のゆくえ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	12・4	金	団塊の世代を中心とした中高年男性が家族においてどのように生きてきたのか検証する	結婚生活の裏側を見た多くの女性たちがどれ程、男性に失望しているか、実態を聞き、夫と妻のあり方について考える	原宿カウンセリングセンター 所長 信田 さよ子

●開設場所 麻生市民館

●時間帯 18:45～20:45

●対象 概ね50歳以上の関心のある方

●参加者数 73人

●延べ人数 73人

## 麻生 〈シニアの社会参加支援事業（4）〉

主 題：麻生の郷土と歴史

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3・8	月	歴史に関心のある方が集う機会を提供し、地域の歴史への学習意欲を高める	3・8「歴史の集い」 麻生の郷土と歴史 柿生中学校の取り組み 地域における生涯学習活動	麻生観光協会 会長 小島 一也 柿生中学校 校長 板倉 敏郎 長野大学 教授 黒沢 惟昭

●開設場所 麻生市民館

●時間帯 18:30～20:30

●対象 関心のある方

●参加者数 68人(男48人、女20人)

●延べ人数 68人